

平成24年度
なごや発ビジネスプラン
大学発ベンチャービジネスプラングランプリ
発表プラン集

開催日時：平成 25 年 1 月 25 日（金）13 時 30 分～17 時 05 分

会 場：名古屋市中小企業振興会館 4 階 第 3 会議室（発表会）
4 階 第 2 会議室（商談会）

主 催：公益財団法人 名古屋産業振興公社
名古屋市新事業支援センター

協賛企業：株式会社 三菱東京UFJ銀行 株式会社 名古屋銀行 株式会社 愛知銀行
株式会社 中京銀行 中日信用金庫 名古屋中小企業投資育成 株式会社

目 次

学生ビジネスアイデア

優秀賞

- 野崎 瞳 愛知学院大学 【塩レンガReBorn『回生』】…………… 2
(他 2 名)
発表時間13時35分～13時55分

奨励賞

- 片岡 優斗 愛知県立芸術大学大学院 【プレゼンテーションデザインシステム】…………… 4
発表時間13時55分～14時15分

- 特別賞 4 件 …………… 6
発表はありません。

- 佳 作 8 件 …………… 8
発表はありません。

- 努力賞 8 件 …………… 9
発表はありません。

大学発ベンチャービジネスプラン

奨励賞

- オンイット株式会社 【【SensinGo！】一置くだけ異常通報センサシステム】……………12
発表時間14時25分～14時55分

奨励賞

- 出口研究室(Team EXIT) 【カーボンニュートラルな低温創生高圧水素が拓く
安心・安全・安定な社会構築】……14
発表時間14時55分～15時25分

奨励賞

- 株式会社量子情報 【Androidアプリケーション開発の学習支援サービス】……………16
発表時間15時35分～16時05分

奨励賞

- 中里 和郎 【バイオCMOSチップによる小型可搬型検査診断システム】……18
発表時間16時05分～16時35分

グランプリ

- 合同会社3Dragons 【シートレンズを用いた超薄型静脈センサーの開発と製造】…20
発表時間16時35分～17時05分

学生ビジネスアイデア

＜学生ビジネスアイデア＞

フリガナ	ノザキ アキラ		
氏名	野崎 瞳		
学校名・学部学科名	愛知学院大学経営学部現代企業学科		学年 3 回生
グループメンバー名	イワモト アズサ ヤマダ メイ 岩本 梓 山田 芽生		
創業の予定	平成25年4月		
指導教官名	鵜飼宏成		

2 ビジネスプランの内容

プラン名	塩レンガReBorn『回生』
事業概要	【背景・提案理由】 私たちは被災地の状況や被災者の状態を見聞きし「お金がない」「仕事がない」「受給での生活による将来の不安」という問題点を見つけました。臨床心理の専門家等のアドバイスもあり、仕事があつて一緒に働き経済的にも助かれ心が満たされると考え、「被災地でできるビジネスを考えることで復興に貢献する計画」を立案し、実行に移しています。 具体的には、被災者が集まって一緒に作業ができるグループワークに着目し、2種類のプロジェクトを推進しています。 (あ)仮設住宅生活者を対象にした「サービス系産業の内職事業」 (い)新たな技術移転を進め産業化を目指す「塩害土壌を再生する塩レンガ事業」 以下では、(い)の塩レンガ事業に特化し、事業概要を説明致します。 塩害土壌を再生する塩レンガ事業とは、津波で被災した塩害土壌をレンガの原料として使用することで「塩レンガ」として回生させるものです。レンガ製造販売会社である瀬戸ブリックと相談し、愛知県三河地方でかつて行われていた「強度を増すために塩を混ぜて焼いた」生産方法を応用する方法を考えました。 【技術・商品・サービスなどの概要】「塩レンガReBorn『回生』」の意味→「塩害の土が形を変えて生まれ変わる」 (1)セメントなしで簡単に組立て(セメント・モルタルなしで弾性本柄を用いてジョイントするだけで組み立てられる) (2)環境に優しいリサイクル型のエコ建材(解体後も繰り返し使用することができる) (3)振動吸収に優れた耐震構造(ジョイント部分の弾性本柄が振動を吸収するため従来のレンガ構造物より耐震性に優れている) (4)工期短縮とコストダウン(セメント・モルタル等の接着剤を用いず組積できるので、施工時の工期短縮が可能で、セメント・モルタルの乾燥に時間の掛かる冬期工事に有効) (5)塩害土壌をブレンドすることで色彩豊かなレンガが作れます。 (6)さまざまな形状・デザインが作れます。 (7)目的に応じ組み換え自在 ※注2007年以降、瀬戸ブリックと愛知学院大学は共同して用途開発を行ってきました。(1)～(4)は瀬戸ブリックが考案した「レコブリック」レンガが持つ機能です。今回東日本大震災からの復興に向け、(5)～(7)が新たに加わりました。 【参入しようとする市場、販売ターゲット】参入しようとする市場は、2つに分類できます。 第1は、公共事業(公園、学校等の公共施設の花壇、壁として)の市場です。 第2は、個人向け(住宅のエクステリアとして)の市場です。 例えば、公園などに設置することで防災意識を低下させることなく、非常用としても使用できるので需要が高く、更に復興住宅及び個人ユースのDIYとして(花壇やバーベキュー・セットなど)販売していきたいと考えます。
新製品・サービスの ・新規性 ・独自性	製造する製品は職人技術不要、セメントなしで組み立て、必要に応じて随時組み換えができるので、平常時は花壇等の緑化施設に利用し、災害時等の緊急時は簡易トイレ・更衣室・浴槽・炊事場・ピザ窯などとして利用が可能です。施工時には、セメントを使用しないため、セメントの乾きにくい東北の寒冷地(特に冬季)においても一年中施工が可能です。またデザイン性が高く、側面に波のように入れることができたり、角を丸めることができたりなど多種多様です。その地域の塩土の色合いを出すことができるので他にはないレンガを作ることができ、ブランド化できると考えます。 ◆独自性 → 塩害土壌を利用しデザイン性、意匠性が高いレンガを製造できると同時に、被災地の塩害土壌や瓦礫処理の問題が解決できる ◆新規性 → セメント、モルタル不使用レンガであり、レンガを組み替えて多用途の構造物を作ることができることに加え、3D/CADを営業ツールに使うことで、顧客ニーズに合わせた形状のレンガを低価格、小ロットで製造することができる
進捗状況	商品化・事業化が一部具体化している
提携先の希望	① 販売 2 生産 ③ 投資 ④ 融資 5 技術 6 製品開発 7 その他()

イメージ図



将来の夢等

(i) 2011年(平成23年)版「窯業・建材統計年報」によれば、耐火レンガ市場は1,026億円であり、数量は42万トンでした。2017年までに震災からの復興需要を見込み、耐火レンガ市場が20%増加、市場規模1,200億円、数量は50万トンとなると推定しています。私達は、2017年に国内市場の1%のシェアを獲得していることを目標とします。

(ii) 更に、国内だけでなく北米ヨーロッパの市場にも参入していきたいと考えています。

(iii) 全国の福祉事業所が障がい者自立支援法を活用し、常用雇用者を増やしていくことを目指します。

1 発表者概要

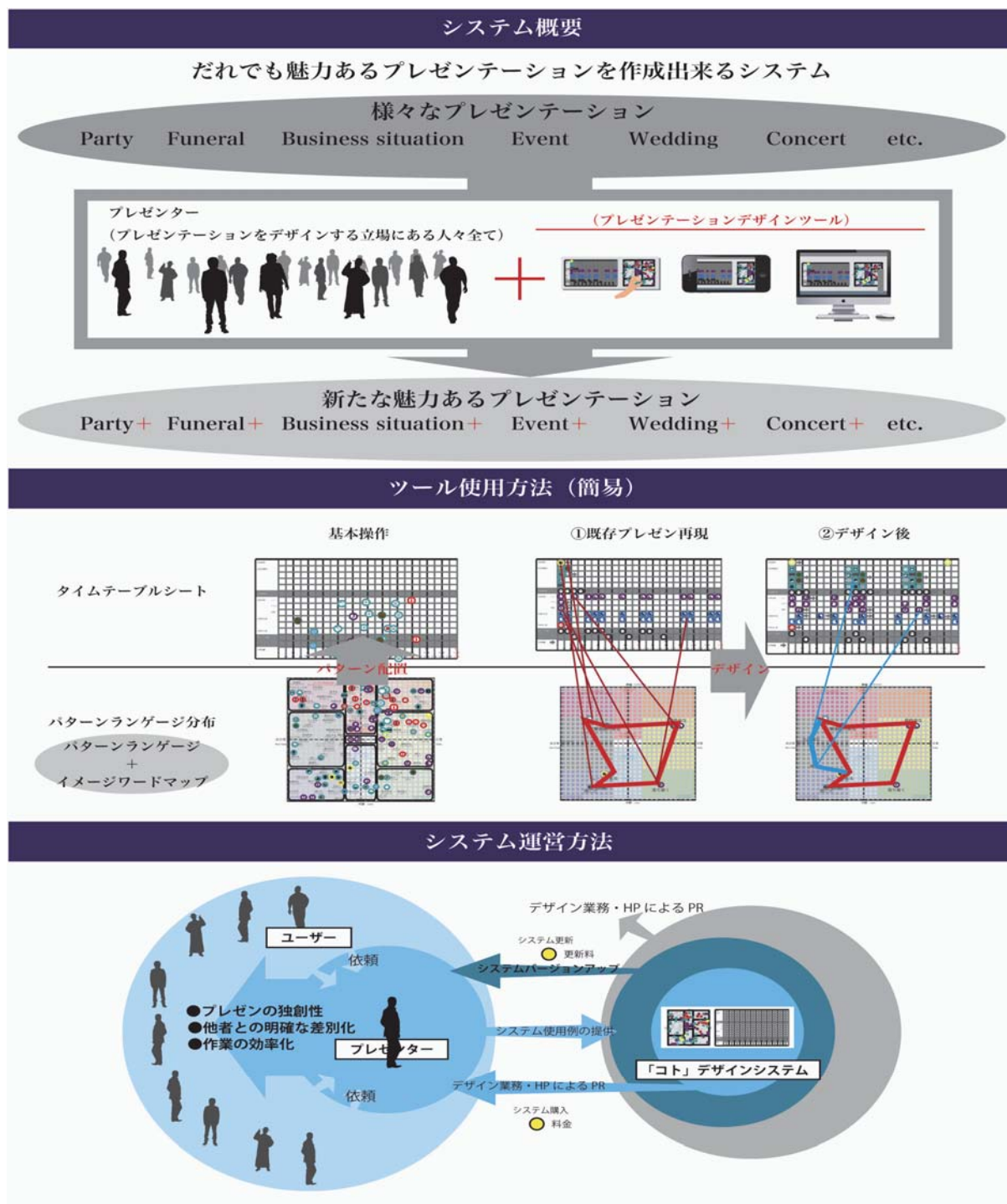
<学生ビジネスアイデア>

フリガナ	カタオカ ユウト				
氏 名	片岡 優斗				
学 校 名・学 部 学 科 名	愛知県立芸術大学 大学院 美術学科 デザイン専攻			学 年	2 回 生
創業の予定	2013年～2014年				
指導教官名	長谷 高史 教授				

2 ビジネスプランの内容

プラン 名	【プレゼンテーションデザインシステム】				
事業概要	①-1 参入市場 ソフトウェア販売、デザイン業務 ①-2 販売ターゲット 各種プレゼンテーション、イベントの企画開発、 例 企業……サービス業界の中小企業、一般企業、例)冠婚葬祭、イベント企画、ワークフロー 公共団体……各種公共団体、例)ワークフロー、 教育関係……各種学校、大学、私塾、予備校、例)授業計画、レクリエーション、タイムテーブル 個人……サラリーマン、学生、幹事、例)社内・学内プレゼン、各種飲み会、ホームパーティー 海外……上記ターゲットと同様 ②-1「プレゼンテーションデザインシステム」とは？(技術・商品) 各種プレゼンテーション・イベントで使用する既存の企画内容をパターンランゲージやイメージワードマップ等の新しいデザイン手法によって今までに無い、新規性や効果のあるプレゼンテーションやイベント等が出来るシステム。 ②-2 システム使用時のメリット ・作業の効率化 ・他との明確な差別化 ・プレゼンの独創性の創出 ②-3 サービス運営方法 ソフトウェア販売、デザイン業務のPRはインターネットHP、営業で行う。また、システムを使用したデザイン業務によるシステムPRも行い、双方の収益増加を狙う。 ・PR方法 デザイン業務による成果をインターネット上でクライアントの同意を得て公開。システムの有用性をPRする。 ・ソフトウェア購入者からレビューをもらう事でシステムをバージョンアップし、新バージョンとして販売・機能追加。更新料を発生させる。 ③ 市場規模、市場の成長性、特色。 ・汎用的な事柄を扱っているシステムの為、成長性も高い。様々な市場に対応でき拡張性も期待できる。 ・本ビジネスプランの成功する為の必要条件 デザイン業務によるシステムの有用性の実証が必要であり、業務とシステムの相互的な運営確立が重要である。				
新製品・サービスの ・新規性 ・独自性	「プレゼンテーションデザインシステム」(技術・商品) ・類似技術について NCD 日本カラーデザイン研究所における「カラーイメージスケール」 この技術は、感性和カラーの相互関係を明らかにし、多様なデザインに応用するものである。 ・優位性、新規性 ①「プレゼンテーションデザインシステム」は感性和「デザインにおける必要な要素」との相互関係を明らかにしているため、類似技術とは異なったアプローチが出来る。 ②要素のパターンランゲージ化、マニュアル作成を行っているので、万人に扱えるシステムツールとなっている。 ・相対的な弱点 アンケート数の絶対数から来る信憑性が、類似技術より弱い事である。 ・備考 オリジナルのシステムであるので、特許等の知的財産権の確保の方法について思案段階である。 オリジナルのシステムであるので、特許等の知的財産権の確保の方法について思案段階である。				
進捗状況	事業化については構想段階であるが、来年中に事務所設立を目標としている。技術の商品化については、ソフトウェア化の為の技術習得、及び提携によって実現は早期に可能であると推測する。				
提携先の希望	1 販売 ② 生産 3 投資 4 融資 ⑤ 技術 ⑥ 製品開発 7 その他()				

イメージ図



将来の夢等

本ビジネスプランの成功によって、自身のデザイン事務所の設立。ゆくゆくは海外からのデザイン受注も行いたい。また、本システムツールをソフトウェア化し、世界に販売。プレゼンテーションデザインの基本ツールとして確立したい。

特別賞 4件

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	ウエムラ アンリ 上村 杏里
プラン名	【阿波藍染めの子供・ベビー服の販売】
【内容】 自分の子供のアレルギー・敏感肌に悩みを持つ親が増えている。藍染めに使用される全て自然のものである。藍は昔から防臭・抗菌作用があるとされ、生まれたばかりの赤ん坊を藍染めの生地でくるむなど、衛生面で重宝されてきた。また、人体には無害で、染めた生地を口に含んでも心配ない。この藍の防臭・抗菌作用と天然染料の安全性に着目し、アレルギーや敏感肌、肌の弱い赤ちゃんでも着られる、「体に優しいベビー・キッズ用品」として販売する。天然染料の染め物に対しては、着物などの古風なイメージが強く、気軽に買ったり使用することが難しいため、日常で使えるものを提供する。製品については、徳島の藍染め技術を差別ポイントとしていく。また、予約制で藍染体験が可能なブースを設ける。 【新規性・独自性】 新規性：愛知県で藍染めの販売をしているところは極めて少なく、そのほとんどが蒲郡などの名古屋市外にある。しかし、それらでさえも、着物やTシャツなどの大人サイズのものが多く、子供をターゲットとしているものは少ない。そこで、肌やアレルギーに不安がある子供・ベビーへ向けた販売に目を向けた。 独自性：藍染めは日本で大昔から愛され、人々の生活を豊かに彩ってきた。化学染料に押され、薄れてきているのが現状ではあるが、高い技術を持って現代の生活スタイルに合わせた製品を提供していく。	

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	コジマ マリエ 小嶋 真理江
プラン名	【プラネタリウムカフェ】
【内容】 名古屋市科学館帰りの人、プラネタリウムの待ち時間、プラネタリウムを見ることが出来なかった20～40代の顧客がターゲット。サービス内容はゆったり出来るように広い空間を設け、食事をしながらプラネタリウムを見ることが出来る空間を提供する。お客様が安心して食べてもらえるように野菜は有機野菜、無農薬野菜や、また楽しんで頂けるように、季節の星座をエスプレッソにアートする「星座ラテ」やオリジナルメニューを提供する。利益を上げることは大事なことだが、お客様の来店時の挨拶から、オーダー、退店時の見送りなど一人ひとりのお客様に合わせた接客対応をするなど、お客様に満足を感じてもらうことが大切である。 【新規性・独自性】 ・ 当社と他社を比べると平均予算や雰囲気を見ても差があまりなく、他社には知名度では勝てない。そのため、プラネタリウムを見ながら食事出来ること、イベントを開催する事を強みとし、お客様に対するサービスに力を入れることで、他社との差をつける。	

所属大学	中京大学
氏名	磯部 左弥花 イソベ サヤカ
プラン名	【運筆リズムの可視化によるペン習字アプリ】
【内容】 手書きの機会は減少傾向にあったが、ビジネスの場においてその良さが見直されてきている。一方で、8割の人が手書きに自信を持たず、その過半数が上達を望んでいるものの、時間や予算などを理由に取り組めない層も多い。スマートフォンはビジネスパーソンやその予備軍である学生に特に普及しており、精細な描画を可能とするスタイラスペンも普及してきている。以上より、ビジネスの場において字を書く必要に迫られるものの、練習をするまとまった時間が取れない人をターゲットに、短い空き時間での字の上達をサポートする、スマートフォン／タブレット向けペン習字アプリを提案する。 【新規性・独自性】 ・既存アプリは字の形や書き順を練習するものとなっているが、本アプリではスポーツや料理など、身体動作を伴う作業の上達において重要な要素とされる「リズム」を字の練習に採用 ・字の線幅とガイドとなる円の大きさを運筆速度に応じて変化させることにより、スマートフォン／タブレットのインタフェースであるタッチパネル上において、手やペンで隠されることのないガイドを実現 ・利用者が必要とする手本データだけを購入できるよう、文字や定型文単位などの定型データをダウンロード販売により提供する一方で、署名やサインなどの一点もののデータも取り扱う	

所属大学	中京大学
氏名	井上 絢子 大橋 知紗 安達 依里 長谷川 智加 イノウエ アヤコ オオハシ チ サ アダチ エリ ハセガワ チ カ
プラン名	【デジマップナビ】
【内容】 屋内GPSを用いた電子版フロアガイドアプリを提案する。 このアプリは、フロアガイドと連動して、タイムセールやイベント情報が発信されるため、消費者は、リアルタイムな情報を入手でき、また、施設管理者は混雑状況を把握できるため、フロアごとに空調・照明調節が可能となり、節電対策を行える。ターゲットは、①百貨店・アウトレットモール・ショッピングモールであり、施設管理者がタイムセールやイベント情報をリアルタイムに配信したり、効率的な節電対策環境を提供する。②アプリをダウンロードする消費者であり、自分の位置を把握し、行きたいお店まで迷わず案内し、買い物をもっと楽しく提供する。 【新規性・独自性】 ・デジマップナビには、クウジツ(株)が販売する”Pochi Walk”というアプリと、”既存の紙媒体のフロアマップ”の二者の競合が存在する。 ・”Pochi Walk”との差別化ポイントは、①使用可能範囲が広い(店舗内全ての情報(例:トイレ、通路)を得られる)。②同行者に対して使えるナビ機能(屋内GPSを用いて、位置の確認が可能)。③飲食店等の混雑状況や待ち時間がわかる。の3点である。 ・”既存の紙媒体のフロアマップ”との差別化ポイントは、デジマップナビではリアルタイムな情報が見られて、逐一お得な情報を入手する事が出来ることである。	

佳作 8件

所属大学	中京大学
氏名	シゲナガ キョウタ 重永 響太
プラン名	【SmaPhoApp for DANCE BEGiNNERS】

所属大学	中京大学
氏名	タカギ セイナ カトウ ソウイチロウ バンノ アイコ サカモト キツペイ シジ ユキナ 高木 晴奈 加藤 聡一郎 阪野 愛子 坂本 吉平 志治 幸奈
プラン名	【キッズモデルパーク】

所属大学	大同大学大学院
氏名	ミゾグチ カズヒロ ワカバヤシ ダイチ カキノ ユウキ クスザキ ヒロユキ オゼキ ヒロノブ タグチ ヒロアキ 溝口 和洋 若林 大地 垣野 雄輝 楠崎 寛之 尾関 宏信 田口 裕章
プラン名	【高風速域を利用した小型風力発電システムの提案】

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	ツハコ カズキ 津波古 一樹
プラン名	【泡盛BAR】

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	アンドウ ケイスケ 安藤 圭祐
プラン名	【硬式専用バッティングセンター兼野球教室】

所属大学	中京大学
氏名	ウエハラ ナルミ ウエチ カズナリ イシカワ カスミ ヒロタ モモコ 植原 成美 上地 一成 石川 香澄 廣田 桃子
プラン名	【規格外野菜を使用した、野菜のバラエティパック「ベジバラ」】

所属大学	中京大学
氏名	ヤナギサワ ショウジ カトウ ミドリ イナガキ エミ キムラ ミツキ 柳澤 翔士 加藤 みどり 稲垣 絵覧 木村 美月
プラン名	【サポートハウス】

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	カジハラ ヤヨイ カトウ ユカ 梶原 弥生 加藤 有華
プラン名	【東海地区限定 動物看護師専門求人サイト】

努力賞 8件

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	イソムラ カナ 磯村 香奈
プラン名	【英語が気軽に話せるカフェ】

所属大学	名古屋大学大学院
氏名	モミヤマ ハルヤ 樫山 晴也 イワモト ユウタ 岩本 友太 ホリ エイコ 堀 瑛子 マツモト メグミ 松本 恵 ヤマダ ケント 山田 賢人 イトウ ミツノリ 伊藤 充則
プラン名	【Lab Voice ～研究室やゼミの日常を共有！～】

所属大学	名古屋文理大学
氏名	オイエ ユウイチ 御家 雄一
プラン名	【車いす利用者向け駐車認証システムの普及事業】

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	テラダ ケイゴ 寺田 圭吾 ヤスダ マイ 安田 麻衣 マルヤマ マコト 丸山 まこと アサクラ ダイキ 朝倉 大希
プラン名	【学生執事】

所属大学	中京大学
氏名	トミナガ ショウタ 富永 翔太 ヤナギサワ エイスク 柳沢 栄作 イシダ アサミ 石田 安紗美 カネコ カズノリ 金子 和紀
プラン名	【シェアグリーン～農業上級者と農業初心者をマッチングさせるプラン～】

所属大学	中京大学
氏名	カネコ ジュンヤ 金子 純也 シバ タ 柴田 早希 ニシハラ アヤナ 西原 綾菜 マキ エリカ 牧 絵梨香
プラン名	【主婦のお私事】

所属大学	中部大学
氏名	サタケ 佐竹 のぞみ
プラン名	【逆就活サイト「B to You」】

所属大学	愛知淑徳大学
氏名	カガワ マユ 香川 真由
プラン名	【Vegetable DELI】

大学発ベンチャービジネスプラン

1. 企業概要

<大学発ベンチャービジネスプラン>

企業名等	企業名	オンイト株式会社		設立	2012	年	6	月
	資本金	40	万円	常勤役員・従業員数	役員3名	従業員0名		
関係大学		名古屋工業大学			関係教授名	伊藤孝行		
大学との関わり		名古屋工業大学大学院，伊藤孝行研究室のメンバーにて技術開発を実施						
代表者名	永井 明彦, 伊藤 孝行							
住 所	(〒 466－8555) 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 インキュベーション施設棟							
TEL	052-735-7968			メールアドレス	otsuka.takanobu@nitech.ac.jp			
FAX	052-735-7407			URL				
企業の沿革	・2012年6月に設立 銀塩写真をスキャンし，クラウド上で自由に閲覧できるサービスを販売							
事業者の プロフィール	代表者(永井，伊藤)らが名古屋工業大学の学生とともに『キャンパスベンチャーグランプリ(以下CVG)』で発表した『Memorial Box』の事業化を目的に2012年6月 伊藤孝行准教授とオンイトを設立。							

2 ビジネスプランの内容

プ ラ ン 名	【SensinGo!】-置くだけ異常通報センサシステム					
事 業 概 要	中小企業などの窃盗、侵入に対する警備市場を主な販売市場とし、デイサービス提供団体・独居高齢者の親族、中小企業経営者・警備部門を販売ターゲットとする。 本製品は次世代通信規格であるIEEE802.15.4に準拠したZigbee無線通信ユニットを用いており、電源線・信号線を不要としたセンサ・ネットワークシステムです。 また、クラウド上に設置されたサーバにより、高齢者介護・警備分野などのドメインに応じた設定を簡単に行うことで、異常発生時に登録されたユーザーへ通報することが可能です。 設置の際に特別な知識を必要とせず、センシング対象に向けて「置くだけ」で設置が完了し、クラウド上のサーバシステムはweb上から簡単に、・異常通知対象の設定(高齢者介護・侵入警備)・通報先の設定・センサ名称の登録を行うことが可能です。 また、コストに関しても安価な部品を使用することにより市販されている製品と比較して安価に導入することが可能です。 更に、終の住み処に代表されるような高齢者施設の収容人数には限界があり、今後は自宅における在宅介護への転換が進んでいます。しかし、訪問介護の頻度には限界があるため独居高齢者の「みまもり」の需要が急増しています。 そのため、従来製品にはない設置の容易さ、設定の容易さ、価格を実現することで高齢者介護のみではなく小規模な警備分野などにも適用することができるため、市場規模としては大きな成長を見込んでいます。					
新 製 品 ・ サービ スの ・ 新 規 性 ・ 独 自 性	本製品を開発するにあたり、事前に汎用品を用いて独居高齢者のみまもりシステムを試作した際の欠点を克服すべく開発を行っております。そのため、既存製品に対して以下の優位点を要しております。 ・安価である(大手の製品と比較し介護分野では約2/3、警備分野では約1/2の導入費用) ・設置工事が不要である(センシング対象に向けて置くだけで設置が完了) ・ペイジアンネットによる自動学習(通常動作を自動で学習することで異常を判断) ・設定変更のみで異常通知対象を変更できる(あらかじめ警備・高齢者介護に最適化した設定を用意) ・情報工学分野での基礎研究の積み上げによる技術的優位性(クラウドサーバ技術、異常検知アルゴリズム)					
希 望 提 携 先	(マッチングを希望される提携先に○をつけてください。)					
	1 販売	② 生産	③ 投資	4 融資	5 技術	6 製品開発
	7 その他(	)				



- ・従来のセンサネットワークは設置に専門的な知識が必要、センサ位置の変更が困難。
-センシング対象に向けて置くだけで設置が完了し、容易に位置変更が可能。
- ・一般的な異常通知センサは侵入路等のセンサが反応=通報等、単純なアルゴリズム。
-ペイジアンネットを用いた自動モデル作成により、設置場所に応じた異常通知を行う。
- ・従来、通報先などの設定はサービス提供会社のみ設定・変更可能
-クラウドサーバーにより、どこからでもデータが閲覧でき、ユーザーが容易に設定できる。

販売計画

- ・販売先は以下と想定している。初年度は異常通知アルゴリズムの精度を向上させるため、大規模施設をメインターゲットとして進める。
 - 介護施設（施設辺り5軒程度を想定し、メンテナンス及び病状に対してカスタマイズを行う）
 - 個人（独居高齢者を家族にもつ家庭を想定センサ数は一軒あたり3～5個を想定）
- 初期契約先の介護施設には優先して最新ソフトウェアの提供を行うとともに、カスタマイズサンプルとして宣伝やソフトウェア実証実験にご協力頂くことで通常より安価に価格を設定することとしている。
- 介護施設と協同で開発することで異常検知アルゴリズムの精度を向上させ、3年目以降には個人向けの販売を開始する。
- 個人向けのビジネスモデルとしては製品価格は廉価に設定し、月額基本料で収益を得る。
- ・販売計画-1年目
 - ・売上高
 - 介護施設で試験運用
 - 施設あたり4000千円で契約@4000千円*1施設（5年間程度の保守契約含む）
 - 【内訳】機材費-センサ15個、受信ユニット5個（3G通信機器含む@5年間）400千円
 - 病状ごとのカスタマイズ、通報アルゴリズム最適化費-1100千円
 - 保守費用-500千円/年@2500千円
- ・販売計画-2年目
 - ・売上高
 - 介護施設への販売拡大@6500千円*3施設（保守費用は1000千円/年*5年とする）
- ・販売計画-3年目
 - ・売上高
 - 個人への販売開始@10千円*200セット
 - 月額管理費収入@6千円/年*100セット分として仮定
 - 介護施設への提供@6500千円*7施設

3 新事業の販売目標

	初年度	2年目	3年目
売上高 計	4000千円	19500千円	48100千円

1. 企業概要

＜大学発ベンチャービジネスプラン＞

企業名等	企業名 出口研究室(Team EXIT)(Venture-SEAGS(仮名)) 設立(予定) 2015 年 10 月		
	資本金	当初300万円を予定	常勤役員・従業員数 当初2人より毎年1人増予定
関係大学	名古屋大学大学院		関係教員名 出口 清一 講師
大学との関わり	名古屋大学大学院工学研究科エネルギー理工学専攻出口研究室(Team EXIT)が開発した「カーボンニュートラルな高圧水素低温創生技術」を基軸とし、数多くの開発技術群を実用化する為、2015年度内の創業を目指すベンチャー企業である。		
代表者名	出口 清一		
住 所	(〒 -) 未定		
TEL	052-789-3383	メールアドレス	deguchi@nuce.nagoya-u.ac.jp
FAX	052-789-3841	URL	下記
http://www.nuce.nagoya-u.ac.jp/L14/SEAGS.html			
事業者のプロフィール	関係教員である出口清一は、名古屋大学大学院工学研究科博士課程後期課程化学工学専攻を1996年3月に修了(博士(工学))し、同年4月より名古屋大学理工学総合研究センター総合環境システム科学リサーチグループ助手、1998年7月より2ヶ月間は名古屋大学高度創造開発在外研究員としてドイツ国ハンブルク工科大学Werther研究室に勤務滞在、2000年度より3年間は愛知工業大学応用化学科非常勤講師を兼務、2001年11月より3ヶ月間は名古屋大学高度創造開発在外研究員としてドイツ国ハンブルク工科大学Werther研究室に勤務滞在、2002年4月より名古屋大学大学院工学研究科エネルギー理工学専攻熱エネルギーシステム工学講座の講師に昇進、2009年4月に同上出口研究室(Team EXIT)を立ち上げ、現在に至る。		

2 ビジネスプランの内容

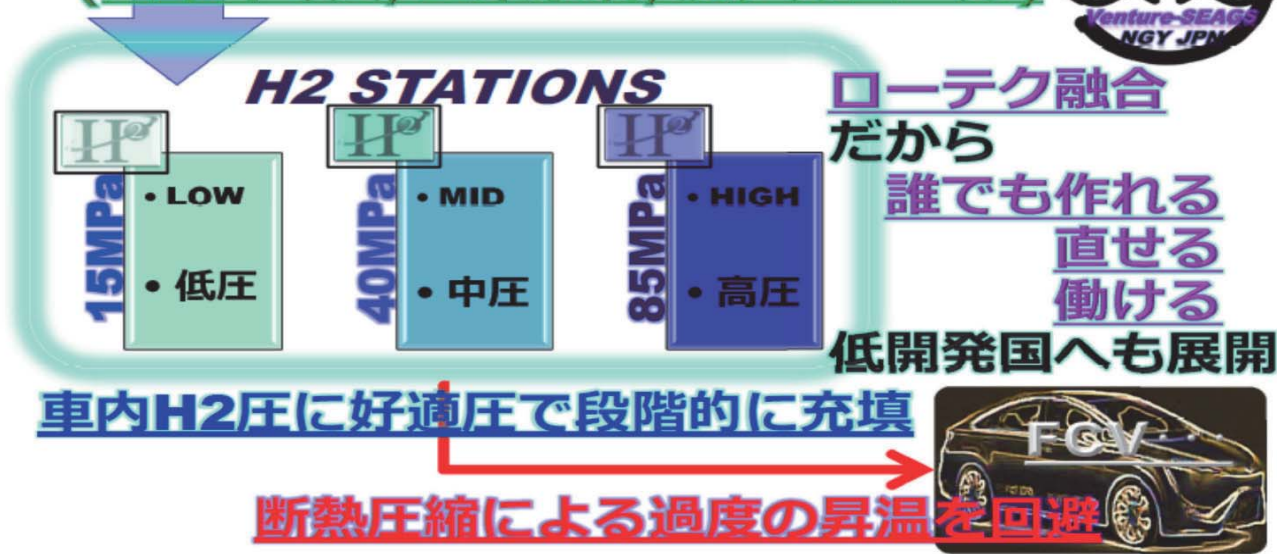
プラン名	カーボンニュートラルな低温創生高圧水素が拓く安心・安全・安定な社会構築
事業概要	2011.3.11の東日本大震災ではライフラインが寸断され、分散型電源である燃料電池システムは稼働不能となった。一方、水没を逃れた自動車は自立稼働し、電源・照明・空調・住居などマルチパワースの役割を果たした。HybridV・FCV(燃料電池自動車)・PlugInHybridVなど車内で積極的に発電する自動車が増え、発電による低燃費化に留まらず、その車外利用が前提と成りつつある。つまり、自動車は災害時に自立稼働し、かつ、全戸に配備済みの最上レベルな分散型電源と見なし得る。 出口研究室Team EXITが2015年度内の創業を目指すVenture-SEAGS(Venture of Sustainable Energies And Green Systems/Seeking Epochs And Granting Safeties)は、高圧純水素低温創生事業により、下記を実現する。 ●FCV用水素ステーションに於ける高安全性オンサイト高圧純水素製造 (充填圧力70MPa) ●高圧水素ポンプ併設による燃料電池システムのライフライン非依存化 (自立稼働) ●高圧水素の断熱膨張時の冷熱による民間のエアコンレス化 (ピーク電力カット) ●同上冷熱による自動車のエアコン/ラジエータレス化 (軽量化にて低燃費化) 上記の内、特に、夏季災害への対策として、高圧水素の断熱膨張時の冷熱(無電力消費型空調)は早急に整備すべき持続可能な発展の一つであり、可及的速やかに事業展開を果たす。
新製品・サービスの新規性・独自性	●特願2012-179385、水素製造装置 水素製造は、現状、メタン水蒸気改質と水電気分解(変換効率>95%)が主流である。メタン水蒸気改質は750℃の高温で行われ、水素濃度が<80%のためPSA(Pressure Swing Adsorption)法・深冷分離法などの高純度化操作を要す。また、これら2技術で得られる水素は常圧であり、高圧化(コンプレッサー)に要する電力量は膨大で、更に圧縮による高温化に対する安全性確保に高度な冷却技術を付帯する必要がある。 本事業で提供するカーボンニュートラル高圧純水素低温創生は、①低処理温度(<450℃)、②高圧(>15MPa)、③付加的加圧の省エネ性、④加圧時の低昇温性、⑤創エネルギー性を特長とし、エコ・安全面で極めて優れる。加えて、本事業の水素源は燃料としての価値が低い高含水率のアルコールで良く、その供給源は以下に例示の通り担保されている。 ●廃アルコール: 含水率50%のメタノール(1500ton/年・セイコーエプソン) ●バイオマスエタノール原液: 含水率80%のエタノール(バイオマスエタノール生産量600億L/年) ●市販アルコール: テキーラ(龍舌蘭由来)など(市販アルコールの含水率は概略20~90%) ●工業余剰アルコール: グリセリン(石鹼・BioDieselFuel生産時の副生物、原料油脂の10%程度) 上記の通り、遍在の廃アルコール、永劫性あるバイオマスエタノール、燃焼時にスート(炭素を主組成とする煤)生成が問題となるグリセリンからクリーンな水素を製造でき、更に、本事業の展開サイトの実状に合った水素源の選定が可能など、その新規性・独自性・優位性は極めて高い。
希望提携先	(マッチングを希望される提携先に○をつけてください。) ① 販売 ② 生産 ③ 投資 ④ 融資 5 技術 6 製品開発 7 その他()

既存技術と **Team EXIT** の高圧純水素創生の比較表

基礎情報/ 比較項目	既存技術		Team EXIT の 水素創生(現状)
	水蒸気改質	水電気分解	
水素源 先導企業	メタン/水 ガス会社	水 自動車関連	アルコール/水/ 金属微粉 化石燃料レス/安定
操作	750℃ 熱的に自立	電力消費 >115kW	<450℃ 吸熱反応 低温/安全
水素濃度	<75% 分離技術が必須	100%	~100%
水素圧力	0.1MPa	0.1MPa	>15MPa
85MPa 圧縮動力	>22kW	>22kW	<3kW 省エネ/安定
断熱圧縮時温度 理論値	>4500K	4500K	<1450K 低温/安全

熱需要
熱源

高含水率アルコール 脱原発 脱化石燃料
(バイオマス/工業余剰/廃アルコール)



販売計画に代えて、本ビジネスプラン立案に関わった出口研究室(Team EXIT)のメンバー名を、Team EXITのロゴマークと共に以下に列記する。

伊藤充則・三輪早枝子・坂野遥奈・澤田圭祐・
武市敏典・小川宗晃・嶋崎翔士・山田晃司・
鈴木孝征・細谷宏・新原勇二郎・寺澤喜代朝・
加藤隆幸・井須紀文・出口清一・井村立美



3 新事業の販売目標

	初年度	2年目	3年目
売上高 計	2,000万円	8,000万円	12,000万円

1. 企業概要

<大学発ベンチャービジネスプラン>

企業名等	企業名	株式会社量子情報		設立	平成23	年	7	月
	資本金	100	万円	常勤役員・従業員数			5	人
関係大学		岐阜経済大学			関係教授名	佐々木 喜一郎		
大学との関わり		岐阜経済大学 ソフトピア共同研究室で培った技術や研究成果をもとに起業した、岐阜経済大学初の大学発ベンチャー企業である。						
代表者名	村井 識顕							
住 所	(〒503－0803) 岐阜県大垣市今宿6丁目52－16 ソフトピアジャパン・ドリームコア2F 211号室							
TEL	0584-47-8211			メールアドレス	info@qict.co.jp			
FAX	0584-47-8212			URL	http://www.qict.co.jp			
企業の沿革	平成23年7月 株式会社量子情報 設立 10月 「福を呼ぶ方位地図占い」 Google play リリース 平成24年2月 「ヘイ！タクシー！」Google play リリース							
事業者の プロフィール	平成23年3月に岐阜経済大学卒業後、 ソフトピア共同研究室顧問 佐々木喜一郎先生と、同大学OBと共に株式会社量子情報を設立する。							

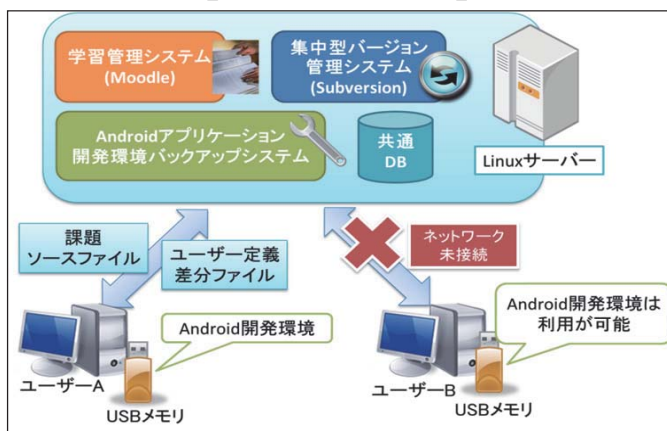
2 ビジネスプランの内容

プラン名	Androidアプリケーション開発の学習支援サービス							
事業概要	日本のスマートフォン利用者は、コムスコア「モビレンズ」の調査結果によると、2012 年6月までの3ヶ月平均データから、全携帯電話利用者1億270万人の23.5%にあたる2400万人以上がスマートフォンを利用しており、4人に1人は、スマートフォンユーザであると言える。また、日本のスマートフォン市場における携帯情報端末用ソフトウェアのプラットフォームのシェアは、コムスコア「モビレンズ」の調査結果によると、2012 年6月までの3ヶ月平均データから、Androidが首位の64.1%である。さらに、学生向きの就職活動情報サイト、リクナビ2013によると、10月17日現在のAndroid アプリの求人数は145件にのぼり、様々な企業がAndroidアプリケーションコンテンツの提供や、他のサービスと連携した新サービスの展開、また、高価な専用端末から安価なタブレット端末へのサービス移行など幅広く事業を展開しようとしているため、Androidアプリケーション開発エンジニア育成が教育機関において強く求められている。 しかし、Androidアプリケーション開発やエンジニアの育成には、Androidアプリケーション開発環境の導入が難しさ、Androidアプリケーション開発環境のアップデートの頻繁さ、複数のAndroidアプリケーション開発環境を導入する必要性、など非常に時間と労力を要する。 本システムは、フラッシュメモリからパソコンを起動するだけで、Android開発環境を立ち上げるシステムと、学習管理システムのMoodleを連携させたAndroidアプリケーション開発学習支援サービスを提供する。							
新製品・サービスの ・新規性 ・独自性	岐阜経済大学情報技術研究所が培ってきたオープンソースの基礎研究成果による様々なLinuxカーネルのカスタマイズをする技術を組み合わせることにより、ユーザに様々な利点を生み出した(参照:イメージ図【利点と技術をかけ合わせたマトリックス図】)さらに特徴的な4つの項目を説明する。 ①眠っている資産を利用することが可能！ 軽量化した開発環境を実現している為、性能が低く利用されることが無くなったコンピュータを再利用する事が可能である。 ②学習の進捗状況や、自動評価機能が活用可能！ ・Android開発環境と学習支援システムのMoodleと連携可能なプラグインを開発したことで、Android開発環境を利用した時間や操作手順がMoodleの学習支援に利用する為の学習状況ログと連携される。 ・課題の進捗状況の把握や自動評価機能を活用可能である。この為、講師は学習者に適切な指導が可能になり、学習者は適切な指導を受けられる。 ③自宅でも、図書館でも好きな場所での学習が可能！ Android開発環境を利用した課題や作品はMoodleを基準として管理される。ゆえに、学習者はデータの保護管理を意識する事無く、どこでも好きな場所で、好きな時間に、Android開発環境を利用が可能である。 ④大きなプロジェクトでのバージョン管理、開発が可能になります！ 本システムは、SubversionとMoodleを連携するプラグインを提供している為、近年注目をされている、営業ツールなどの業務用アプリケーション開発などの大きなプロジェクト単位のソフトウェア開発の演習に活用できる。							

希望提携先	(マッチングを希望される提携先に○をつけてください。)					
	① 販売	2 生産	3 投資	4 融資	5 技術	6 製品開発
	7 その他()					

イメージ図

【システム概要図】



【システム運用例】



【利点と技術をかけ合わせたマトリックス図】

技術		Live DVD Linuxによる提供	ローカル 認識機能 対応	LDAP 認識機能 対応	ハードウェ ア制御カス タマイズ	Linux及び 開発環境 のスリム化	Live USB Linuxによる提供	ファイルシ ステム FAT32対応	Subversion 連携プラグ イン提供	Moodle 連携プラグ イン提供
利点		●				●	●			
様々なパソコンの 機種に対応			●							
起動プロセスの簡 略化				●						
ユーザ管理の簡 素化				●						
既存システムに 干渉					●					
システム処理性 能の向上					●	●				
性能が低いPCで も利用可能					●	●	●	●		
統合開発環境の フルサポート					●	●	●	●		
様々な媒体に対 応					●			●		
各種データの保 護管理及び同期									●	
学習課題との連 携した課題提出 の支援が可能									●	●
学習進捗ログと連 携した学習支援 が可能										●
ソフトウェアの共 同開発が可能									●	●

販売計画	本システムは、教育機関に最適なAndroid開発環境を提供する。 気軽に試していただくサービスは、DVDメディアによる提供。 統合開発環境を低コストで素早く導入するサービスは、フラッシュメモリ単体による提供。 Androidエンジニアの育成を目指す教育機関や企業に最適なサービスは、学習管理システムのMoodleを連携させたAndroidアプリケーション開発学習支援サービスの提供。 1年目には、統合開発環境を低コストで素早く導入するサービスを8校、Androidエンジニアの育成を目指す教育機関や企業に最適なサービスを3校に提供し、以降2倍の校数ずつ提供し、3年目には売上13,860,000円を目指す。
------	---

3 新事業の販売目標

	初年度	2年目	3年目
売上高 計	¥4,140,000	¥9,000,000	¥13,860,000

1. 企業概要

<大学発ベンチャービジネスプラン>

企業名等	企業名	中里和郎(バイオシーモス社2013年3月設立予定)		
	資本金	300	万円	常勤役員・従業員数 1人
関係大学		名古屋大学	関係教授名	中里和郎
大学との関わり		名古屋大学発ベンチャー企業 大学研究室での8年間のバイオシーモスの研究から誕生した研究成果、技術シーズと発明特許を活用して起業を予定しています。		
代表者名				
住 所	(〒 464 -8603) 愛知県名古屋市千種区不老町1 名古屋大学IB電子情報館北棟421			
TEL	052-789-3307	メールアドレス	nakazato@nuee.nagoya-u.ac.jp	
FAX	052-789-3139	URL	http://biocmos.com	
企業の沿革	2004年4月～現在 名古屋大学工学研究科BioCMOS集積回路の研究開発 科研費基盤研究S、総務省戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE) 等 日本国特許第4883812号 (2011年12月16日成立、名古屋大学) US Patent No.8,129,978 (2012年3月6日成立、名古屋大学) 他 審査中特許2件 2013年3月 バイオシーモス社設立(予定)			
事業者の プロフィール	東京大学大学院終了(理学博士)の後、日立製作所中央研究所(1981年4月～1989年5月)、英国日立ケンブリッジ研究所(1989年6月～2004年3月)で半導体集積回路の研究開発を行った。その間に3回の工場移管を主導し1回は製品化に成功、2回は製品化にいたらなかった。製品化の修羅場をくぐると共にその醍醐味と厳しさを実体験した。2004年4月から名古屋大学教授として半導体集積回路の医療応用の研究開発を行っている。学術論文約200件、日立製作所時代に特許約130件、名古屋大学で特許4件を出願。			

2 ビジネスプランの内容

プラン名	バイオCMOSチップによる小型可搬型検査診断システム			
事業概要	高齢化・成熟社会への移行に伴い、消費者はものから健康に比重を移している。本事業で提供するバイオCMOSチップは、半導体集積回路を用いて診断／検査することにより、個々人の体質に応じた医療やケアの提供、感染症や病気の発見、偽装食品の判定、創薬等を行うものである。 遺伝子、タンパク質、細菌、ウイルス等の生体分子を半導体集積回路チップを用いて検出する研究が急速に進展している。半導体集積回路は1cm角のチップに数10億個のトランジスタを集積することができ、ここに生体分子の検出機能を組み込むことにより、小型可搬型医療診断検査システムを作ることができる。このシステムはどこでも誰でも短時間で診断することを可能にするとともに、無線により病院や保健所、顧客データベースに結果を送ることが容易となる。 遺伝子情報を解読するDNAシーケンサを例としてあげるなら、ヒトの遺伝子情報30億塩基の配列を解読するには、従来1週間以上、100万円以上の検査費用を要していたが、バイオCMOSチップを用いることにより、1日10万円で検査することが可能となる。更に2015年には、1時間1万円で全遺伝子情報の解読が可能になり、0.2兆円/年の世界市場が形成されると予想されている。 我々が提案した化学集積回路は、1cm角・厚さ0.3mmのチップ上で様々な化学反応を起こし、チップ内の回路で検出・制御をする、今までにないチップである。これにより、将来的には微量のがん遺伝子を増幅することでガンの早期発見が可能となる。 糖尿病やダウン症候群等の多くの病気が、特定の遺伝子配列の違いによって引き起こされることが明らかになっている。感染症や偽装食品の検査においても、全遺伝子情報を解読するまでもなく、特定の遺伝子配列が検出できれば良い。この場合、数100～数1000種の検出ができれば十分であり、現時点で小型可搬型健康診断システムの製品化が可能である。			
	我々はこれまでバイオCMOSチップの研究を行い、特許を出願するとともに、設計・試作により医療・健康への応用への実証を行ってきた。医療応用の半導体チップを設計できることは国内で4箇所ほどしかなく、回路技術において我々が最も進んでいる。半導体集積回路は初期費用が多額(やや古いテクノロジーで200万円、最先端テクノロジーで1億円)であるが、一度設計が完成すればチップ単価は300円程度と非常に安くなる。初期費用を回収するためには、チップの標準化が必須である。我々は256種の検査を行う標準チップ、100万種の検査を行う標準チップを設計・試作しており、診断／検査実証のための評価チップを供給する体制を確立している。 ■検査診断システムの特徴 - 誰でもどこでも瞬時に診断 - ネットワークとの連携による診断結果の共有化			
希望提携先	(マッチングを希望される提携先に○をつけてください。) 1 販売 2 生産 ③ 投資 ④ 融資 5 技術 6 製品開発 7 その他()			

イメージ図



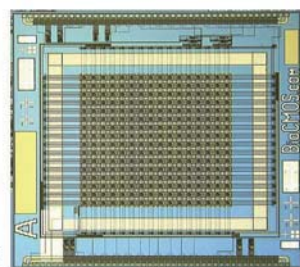
バイオCMOSチップを用いて診断／検査することにより、
 個々人の体質に応じた医療やケアの提供、
 感染症や病気の発見、偽装食品の判定、創薬等を行う。

■参入市場

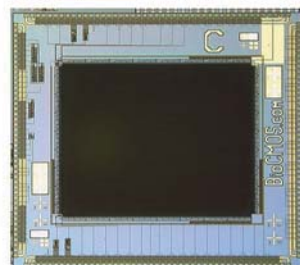
- ・医療・健康・環境の研究・開発用装置
- ・遺伝子・タンパク質の全配列検出装置
- ・開業医・在宅医療向け血液検査機器
- ・ケア(食品・化粧品・運動・ペット)支援簡易機器

■検査診断システムの特徴

- ・誰でもどこでも瞬時に診断
- ・ネットワークとの連携による情報の共有化



256種検査
標準
BioCMOSチップ



100万種検査
標準
BioCMOSチップ

← 0.75cm →



販 売 計 画	(1) 大学、病院、企業研究室にバイオCMOSチップおよび評価キットを提供して実証実験(平成25年～)
	(2) 大学、病院、企業研究所に技術供与、コンサルタント(平成25年～)
	(3) 電子書籍出版、ソフトウェア販売(平成25年～)
	(4) 企業に対し特許ライセンス(平成26年～)
	(5) 半導体チップのカスタム設計(平成26年～)
	(6) 病院、企業向けに半導体チップ、研究開発用装置の販売(平成26年～)
	(7) 一般消費者向け小型可搬型健康診断システムを販売(平成27年～)
	設計に重点化し、製造設備は持たず外部委託で生産する。海外展開を進める。

3 新事業の販売目標

	初年度	2年目	3年目
売上高 計	500万円	2,000万円	5,000万円

1. 企業概要

<大学発ベンチャービジネスプラン>

企業名等	企業名	合同会社 3Dragons		設立	2010	年	6	月
	資本金	100	万円	常勤役員・従業員数	3人			
関係大学		名古屋工業大学			関係教授名	梅崎 太造		
大学との関わり		大学発ベンチャー						
代表者名	堀米 秀嘉							
住所	(〒466 -8555)名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学22号館7号室							
TEL	052-735-5723			メールアドレス	umezaki@nitech.ac.jp			
FAX	052-735-5723			URL	http://www.3dragons.jp			
企業の沿革	三次元ディスプレイ・三次元プリンタ・三次元画像コンテンツの商品開発を行う目的で設立							
事業者のプロフィール	1984年豊橋技術科学大学修士課程修了、1984年～1996年ソニー株式会社にて光ディスク分野の先端技術開発に従事しMini Discの記録技術を発明するなど200件以上の特許を出願、ソニー株式会社退社後、1997年～1999年海外各地での充電期間を経てベンチャー企業設立を決意、1999年株式会社オプトウエア設立、同社代表取締役社長に就任。独自特許技術コリニアホログラムを用いた超高速 大容量光ディスクHVDの研究開発を推進し、2007年にEcmaにおいて世界標準規格化を実現。2005年有限会社ホーリーマイン設立し、3Dディスプレイの研究開発を推進中。2002年～2004年内閣府・総合科学技術会議専門委員、2006年～豊橋技術科学大学客員教授、2009年～奈良先端大学院大学非常勤講師。2010年合同会社3Dragons設立。							

2 ビジネスプランの内容

プラン名	シートレンズを用いた超薄型静脈センサーの開発と製造							
事業概要	①ガラス面への指のタッチ入力を基本とするスマートフォン・PAD・ノートパソコン等のモバイル機器やATM・セキュリティシステムなどに組み込むための世界初となる極薄シート(フィルム)型静脈センサー(図1)を開発した。静脈センシング用ホログラムシートを指タッチするガラスの裏面に貼りつけるだけで良いため(図2)、車や家の入退出装置としても幅広く容易に組み込めるのが最大の特徴である。 ②通常、光学機器を設計する場合、レンズと撮影センサ(CCDやCMOS)の間に光路(距離)を必要とするため、その分の容積により機器サイズが大きくなる。我々は、ホログラム技術によりシートレンズ(光分子フィルム)とガラスのみで静脈画像のセンシングに必要な光路を平坦化することに成功している。そのため、ガラス+シートレンズの1～3[mm]の厚さしか必要としない。さらにシートレンズ1指分の価格が100～200円ぐらいの低価格になる大きなメリットがある(現行の安価なもので2～3万円ぐらい)。 ③全世界的に普及しているすべてのモバイル機器やセキュリティシステム及び高価な重機や機器類などへ、個人認証技術を組み込むことは個人の財産や安全を守るために急務である。本システムは、従来機器に簡単に且つ敏速に組み込むことが可能であり、市場規模とその成長性は極めて高い。							
技術、商品、サービスの新規性や独自性など	これまでの静脈センサーは透過型及び反射型(図参照)の2種類に大別される。両手法共に指表面と近赤外線LEDの照射光路(距離)及びカメラへの入射光路が必須で有り、そのぶん空間容積を必要とするため、薄型なセンサーの開発は不可能であった。今回提案するホログラムを利用するシートレンズの場合、ガラスの裏面に貼るだけで静脈センサーシステムを構築できる。そのため、スマートフォンやPAD及びノートパソコンなどの小型で薄型のモバイル型電子機器にも組み込みが簡単に行えるうえ、従来のモバイル機器に余分な体積を必要としない。さらに、価格にして100～300倍ほど低価格が可能である。 ※ 現在、特許出願中							



図1 シートレンズ型静脈センサー

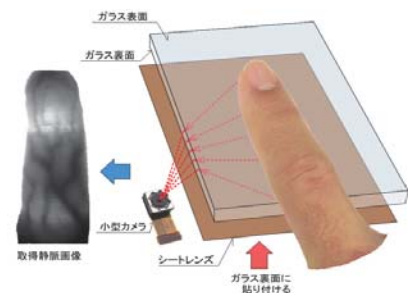


図2 シートレンズセンサー利用例



図 従来の小型センサー例

http://ascii.jp/elem/000/000/665/665486/より出典

希 望 提 携 先	(マッチングを希望される提携先に○をつけてください。)					
	① 販売	2 生産	3 投資	4 融資	5 技術	6 製品開発)
	7 その他(					

イメージ図



販 売 計 画	本技術は、認証精度の高い指静脈認証を小型・薄膜化し、さらに低価格を実現するため、PCや携帯電話などですでに使われている指紋認証に取って代わる可能性を有する。さらに、「今後5年間で、従来のパスワードやIDカードに代わり、生体サンプルによる認証が通常となる時代が到来する」との予測もあるので(JETRO/IPAニューヨークだより2012年4月)、従来の指紋認証市場のみならず、増大する需要に適用されれば、巨大な市場において有力な商品となる可能性も高い。 具体的な販売計画では、次の4つのソリューションを用意する。 1. 組み込み機器を選ばない薄型静脈認証ユニットの提供 2. 組み込み機器の処理能力とシーンに応じた認証方式の提供 3. 画像処理アルゴリズムを応用した多要素認証の提供 4. 認証に寄らず、新方式入力デバイスの提供 特に1の「薄型静脈認証ユニット」を完成し、サンプル提供を行なうまでを重視し、ユーザー獲得目標2013年末を目指す。開発期間を通してアプローチするユーザーとして、 1. 政府・公共機関(犯罪捜査、出入国管理、公共施設の監視など) 2. 金融機関(ATM、電子決済) 3. 家庭用防犯サービス・機器メーカー(施錠) 4. 家庭用電子機器、モバイル端末メーカー(機器ロック解除、サービスログインのユーザー認証) すでに、国内外のユーザー候補との接触や共同研究がスタートしている。 「世界の生体認証技術の市場規模は2010年の50億ドルから2015年には120億ドル規模にまで拡大すると予測されている。中でも指紋認証システム(Automated Fingerprint Identification System、AFIS)の市場規模の伸びが最も大きく、2015年に66億ドルと全体の半分を占める」(上記「ニューヨークだより」)とされている。 このような成長市場であるため、販売戦略的には、よりグローバルな企業との取引の実現を目指す。一方で、政府・公共機関の受注も重視し、信用力の強化に努める。

3 新事業の販売目標

	初年度	2年目	3年目
売上高 計	10,000,000	60,000,000	100,000,000

◆ お 問 合 先 ◆

公益財団法人 名古屋産業振興公社
名古屋市新事業支援センター

〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 名古屋市中小企業振興会館5階
TEL (052) 735-0808 FAX (052) 735-2065
e-mail shien@nipc.city.nagoya.jp URL <http://www.nipc.city.nagoya.jp/new-biz/>